

単元指導計画表

小学校第5学年

伝記を読んで感想文を書こう「手塚治虫」
【新編 新しい国語五 P.165～183 (東京書籍)】

全9時間

引 「見方・考え方」を引き出す発問の視点

- 引①：持っている知識や経験から導き出させる。
- 引②：多様な考えを持たせる。
- 引③：課題を見いださせる。
- 引④：考えの見通しを持たせる。

鍛 「見方・考え方」を鍛える発問の視点

- 鍛①：自分だったらどう考えるかを再考させる。
- 鍛②：知識を関連させ、概念的・汎用的な考えに高めさせる。
- 鍛③：考えを比較、検討する必要性を生じさせる。
- 鍛④：考えをゆさぶる。

次	時	言語活動	本時のねらい	主な学習活動	発問	視点番号
1	1		<p>各種の本の書かれ方に着目し、比較読みをすることを通して、伝記を読み味わおうとする。</p> <p>読書感想文の書かれ方に着目し、工夫点を探すことを通して、読書感想文を書こうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図鑑や物語、伝記などの本を比較して、伝記とは何かを考える。 ・教師が書いた読書感想文のモデルを示し、読書感想文の書かれ方や工夫（本文の引用、心に残る出来事、それに自分が遭遇したらどうするか、これからの自分の生き方について）に気付く。 ・読んでみたい伝記を選ぶ。 ・並行読書を始める。 	<p>引 「見方・考え方」を引き出す発問</p>	視点番号
					<p>鍛 「見方・考え方」を鍛える発問</p>	
2	2	伝記を読んで読書感想文を書く	<p>伝記の表現に着目し、文章の書かれ方を読み取ることを通して、伝記には、文学的な描写と説明的な表現が用いられていることをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を比較し、伝記の書かれ方の特徴を見付ける。 ・文学的要素と説明的要素に分けてまとめる。 ・学習したことを振り返り、学びを自覚する。 	<p>引 伝記とは、どのような本でしょう。</p>	引①
					<p>鍛 読書感想文には、どのような工夫があるのでしょうか。（全てノートに書きましょう。）</p>	鍛②
	3		<p>治虫を取り巻く登場人物の言葉に着目し、それらを関係付けて読むことを通して、治虫の人生に影響を与えた出来事を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・治虫が経験した出来事を確認し様々な出来事や登場人物が関わって、治虫が漫画家として生きたことを捉える。 ・治虫が一番影響を受けたと考える出来事を選び、その理由をまとめる。 	<p>引 これらの文章（文学的要素と説明的要素の）を比較して、気付いたことは何でしょう。（3～5行でまとめましょう。）</p> <p>作者は、どのようなことに感動したのでしょうか。（叙述を根拠にして、ノートに書きましょう。）</p>	引① 引③
					<p>鍛 どのような出来事が取り上げられていますか。（全てノートに書きましょう。）</p> <p>治虫の人生に一番影響を与えたのは、どの出来事でしょう。（理由もノートに書きましょう。）</p>	引② 引③ 鍛① 鍛③
4 ※授業例	<p><u>治虫の生き方を表す叙述に着目し、その意味を問い直すことを通して、生き方を捉え、治虫の生き方と自分を結び付けて自分の考えをまとめる。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述を根拠にし、理由を記しながら、治虫の生き方を一言で表す。 ・生き方を表す一言とその根拠となる叙述を共有し、様々な捉え方があることに気付く。 ・自分の考えをまとめることができたか、振り返る。 	<p>引 治虫の生き方を「〇〇〇の人」と表すならばどのような言葉がふさわしいでしょう。（叙述を根拠にして、理由も書きましょう。）</p>	引② 引④		
			<p>鍛 自分の心に一番響いたことは何でしょう。（自分の生活と結び付けて、ノートに3～5行で書きましょう。）</p>	鍛③		
5	<p>書き手の異なる同一人物の伝記で取り上げられている出来事や叙述に着目し、読み比べることを通して、その違いを読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の異なる同一人物の伝記を読む。 ・それぞれに書かれている出来事や生き方を表す叙述を基に比較する。 ・書かれ方の違いを読み取ることができたか、振り返る。 	<p>引 治虫という人物を表すために、どのような叙述が使われているでしょう。（全てノートに書きましょう。）</p>	引② 引③		
			<p>鍛 一番強く心に響いた本はどれですか。（理由をノートにまとめましょう。）</p>	鍛③		

3	読書感想文を書く	6	<p>並行読書の叙述に着目し、自分が一番感銘を受けた場面を選び出すことを通して、構成メモにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> モデルとなる構成メモを示し、書き手の考えが伝わる順番について考える。 並行読書の叙述や場面を振り返る。 引用したい叙述は黄色の紙、心に残った出来事とその出来事に遭遇したらどうするかはピンクの紙、自分の生き方について考えたことは水色の紙にまとめ、構成メモを書く。 	<p>引 書き手の思いが伝わる構成メモの並び順は、どのような順ですか。(理由も説明しましょう。)</p>	引①
				<p>鍛 自分の構成メモをどのような順番に並べますか。(理由も説明しましょう。)</p>	鍛②	
		7	<p>並行読書の人物の生き方を表す叙述に着目し、その意味を問い直すことを通して、自分の読み取った考えが表れるように題名を付け、読書感想文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 題名を決めるために、並行読書の人物を〇〇〇の人と表す。 前時に考えた構成メモの順に沿って、読書感想文を書く。 	<p>引 人物の生き方を「〇〇〇の人」と表すならば、どのような言葉がふさわしいでしょう。(叙述を根拠にして、理由も書きましょう。)</p>	引② 引④
					<p>鍛 自分の読み取った考えが伝わるように工夫したことは、どのようなことですか。(書き表した部分を示しながら、説明しましょう。)</p>	鍛②
		8 ※授業例	<p>読書感想文の構成や書き表し方に着目し、互いに読み合うことを通して、読書感想文を書き直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに読書感想文を読み合い、良い所と助言を付箋に書き、伝える。 友達の読書感想文を読み、様々な捉え方があることに気付く。 付箋を基に、推敲し、読書感想文を完成する。 	<p>引 <u>どのような点に気を付けて読み、助言し合えば、考えが伝わる読書感想文になるでしょう。</u></p>	引① 引④
					<p>鍛 <u>自分の読み取った考えが伝わる読書感想文にするには、どのように文や文章を整えますか。</u> (友達の付箋を基に、読書感想文を書き直しましょう。)</p>	鍛① 鍛④
	9	<p>読書感想文の構成や書き表し方に着目し、読書感想文に対する感想や意見を伝え合うことを通して、互いの文章の良さに気付き、自分の考えを広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1回目は、同じ分野の伝記を読んだ人とグループを作り、読書感想文を読み合う。 2回目は、異なる分野の伝記を読んだ人とグループを作り、読み合う。 感想や意見を付箋に書いて伝える。 友達の読書感想文や助言から、新しく気付いたことを発表し、共有する。 今後読書感想文を書く時に、取り入れたいことをまとめる。 	<p>引 読書感想文を書く時に、自分が工夫したことは何でしょう。(ノートに3つ書きましょう。)</p>	引①	
				<p>鍛 今後、読書感想文を書く時に、取り入れたいことは何でしょう。(ノートに3～5行で書きましょう。)</p>	鍛①	